

第15回全日本ユース(U-15)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2022/12/24】

この試合のプレー集計

準々決勝

神奈川県選抜

8	3	－	1
	2	－	1
	0	－	2
	3	－	2

6 千葉県選抜

PSO

審判： 宇田川 佑里子
黒谷 真功

神奈川県選抜	17	SH数	19	千葉県選抜
	7	速攻数	4	
	13	ST・SB	12	
	4	SH・P誘発アシスト	6	
	45%	GK阻止率	47%	
	3	EX反則数	6	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

関東勢同士の戦いとなった準々決勝。関東ブロック予選会(2P)では神奈川6-2千葉と神奈川が快勝したが、本番でどこまで千葉が巻き返すか。

【1P】

先制点は神奈川。右展開から守りを崩しが決めた。しかし千葉も負けずに右展開からセンター⑭傍嶋が決めて追いつく。その後、神奈川が⑦栢の中央ドライブSHで追加点をあげ、さらに退水を誘発して⑥鈴木が決めて神奈川3-1千葉という第1ピリオド。お互いに同系色であるが、前への突破力は神奈川がやや勝っており、千葉は突破される可能性が高いことを踏まえたDF対応がカギとなりそうだ。

【2P】

序盤、必死の攻防で長いラリーが続いたが、⑭傍嶋が退水を誘発し、自身でそこを決めて1点差に詰め寄る。その後、神奈川が押し返し、2点を追加。特に、千葉の外周ミドルSHを読んでからの両サイド速攻では、右サイド⑫石川から左サイド⑥鈴木へジャストパスが通り、教科書通りの速攻SHが決まって神奈川5-2千葉という形で前半を終えた。千葉の外周シュートは神奈川には狙われている展開であった。

【3P】

千葉が積極的に前に出る形で、速攻からの相手マークミスについて⑩中田が決めると、一気に千葉ペースへ。神奈川の攻撃を防いだあと、積極的に前に出ることで神奈川DFを下げ、そこを右45°から②臼井が切れのいいシュートがゴールネットを突き刺さり、1点差に千葉が迫った。千葉の攻撃リズムの中で退水を誘発したが、退水セットを組まないうちに外周からのシュート。これが外れ、逆に神奈川が退水攻撃。タイムアウトからの双方の攻防は見ごたえのある内容となった。結局、終始優勢のうちに千葉がペースをつかみ、神奈川5-4千葉の1点差で最終ピリオドへ。

【4P】

千葉のペースで試合が動いていたが、1つのルーズボールの所有権で一気に神奈川がゲームが傾いた。前がかりだった千葉の背後突く形で⑥鈴木がペナルティを誘発し、そこを⑦栢が決めて2点差に広げると形勢は逆転。立て続けに神奈川が加点して突き放した。その後、千葉は退水攻撃を起点に2点を返すが、最終的には神奈川8-6千葉で、神奈川が準決勝進出を決めた。

ゲームの主導権が1つのプレーで目まぐるしく変わる展開となったが、両チームともにエキサイトした展開を鎮めてコントロールすることも必要な一戦だった。